

平成24年7月15日
今週のベストショット



青松園B レッドサンデーズ 対 三苦ホーネッツ戦
三回裏、ホーネッツの頼れる主将・塚巖生選手が起死回生の逆転満塁HRを放つ。
(写真：新町パイレーツ 安部貴大)

奈多グラウンド

新町ウインズ (2勝5敗1分) 7 1 2 1 2 1 3 早田、城戸○ー今林

奈多クラブ (2勝5敗0分) 10 0 0 0 2 1 2 今林(祐)、今林(常) ●ー高瀬

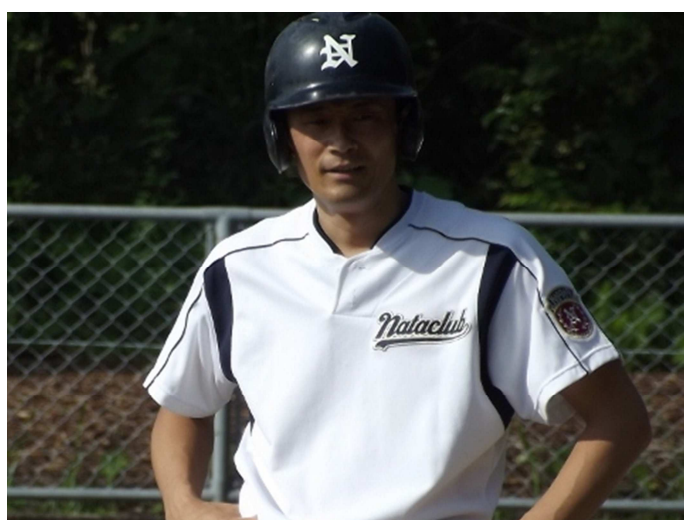
HR：城戸(新町ウ) 3BH：桐島(新町ウ)

2BH：城戸×2、安藤×2、桐島(新町ウ) 今林(健)×2(奈多ク)

初回新町ウインズは、1番桐島選手が出塁すると制球に苦しむ奈多クラブ今林(祐)投手から三連続四球で先制し、5番城戸選手の左中間二塁打など打者12人で7点を挙げる。しかしその裏ウインズの先発早田投手も制球に苦しみ連続四球でランナーをため、奈多クラブ3番今林(健)選手の1イニング2本の二塁打など、打者14人で10点と逆転を許す。ウインズは奈多クラブ2番手の今林(常)投手から二回には安藤選手の二塁打、三回には3番今林、4番野田選手の連続タイムリーなどで追いつくと、四回に桐島選手の三塁打で逆転に成功。最後はこの日4安打と活躍した5番城戸選手の2ランHR。投げては初回途中からマウンドに上がったウインズ2番手の城戸投手が最終回に2点返されるも、辛くも1点差で逃げ切った。(記事：奈多フェニックス 今林文彦)



四回を2点に抑えた城戸選手は打っても4安打5打点の大活躍。



1イニング2本の二塁打を放った奈多クラブ今林(健)選手。



最終回奈多クラブは今林(龍)選手の適時打で
1点差に迫るが反撃もここまで。

青松園B

レッドサンデーズ (2勝6敗0分) 202000 4 土田●、嶋村一三船

三苦ホーネッツ (7勝1敗0分) 10510X 7 井手○、矢野一松尾

HR: 嶋村(レッド) 塚(三苦ホ) 2BH: 嶋村(レッド) 松尾(三苦ホ)

レッドサンデーズは初回、先頭の土田選手が相手のエラーで出塁し、3番嶋村選手が二塁打を放ち先制すると、5番宮口選手のレフト前で2点目。対する三苦ホーネッツは1番矢野選手が四球と相手ミスで進塁し、内野ゴロの間に生還。三回表レッドは、1番土田選手がライト前、3番の嶋村選手が今度はレフト線へHRを放つ。これで4-1。その裏ホーネッツの攻撃は、1番矢野選手が四球、2番山崎選手が内野安打、3番の松尾選手のレフト線二塁打の間に矢野選手がホームイン。1点を返して4番の広木選手が四球で満塁とすると、5番キャプテン塚選手がセンターオーバーの特大グランドスラムを放ち逆転！これが決定打となり、ホーネッツは常勝チームの意地を見せ1敗を守り切った。(記事、写真:新町パイレーツ 安部貴大)



辛くも勝利した三苦ホーネッツ先発の井手投手。



レッド先発土田投手は強打者に力んでしまい、自滅してしまう。



投打に大車輪のレッド嶋村選手の活躍も及ばずチームは惜敗。



三回裏、逆転の満塁HRを打ったホーネッツ塚厳生選手。



残念そうなレッドナインが印象的な試合後挨拶。



試合後、ホーネットスのチームミーティング風景。

雁レク 5 番球場

塩浜ジャガーズ（3勝4敗0分） 2007 9 立石●、田中、道喜－水流

三苦三球会 （6勝1敗2分） 3102 X 15 吉留○、堺（達）－藤澤

HR: 立石（塩浜ジ） **3BH:** 稲富（塩浜ジ）

一回表塩浜ジャガーズは、田中良選手が内野安打に稲富選手の三塁打と相手エラーで三球会吉留投手から2点を先制。その裏三球会は、四球とエラーで出塁しWスチールとキャッチャーの悪送球であっさり同点。更に吉留投手のレフト前で逆転。さらに二回裏には制球の定まらないジャガーズ立石選手から10四球、救援した田中選手からも2四球を選び、この回一挙10点。ここまで三球会の一方向的展開だったが、四回表ジャガーズが反撃。この回からマウンドに上がった三球会堺達也投手を攻め、ヒットと四球・エラーで3点を返し、なお満塁のチャンスに立石投手が右越え満塁本塁打。ジャガーズは単打3安打の三球会を上回る本塁・三塁打を含む6安打を放ちながら、投手の好不調が勝敗を決した試合となった。（記事、写真：ブルーマーリンズ 友重正司）



老若を感じる試合開始前の監督握手。



一回表、ジャガーズ稲富選手が2点目のホームを踏む。



二回以後立ち直りゲームを作った三球会吉留投手。



二回裏、吉留投手は自らのバットで逆転のレフト前安打を放つ。



四回表、ジャガーズ立石選手が意地の右越え満塁本塁打を放つ。

第13週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

梅雨がなかなか明けませんね。

7月15日は、青松園Aの奈多サンデーズ対雁ノ巣ライナーズ戦がグラウンド不良のため、中止になりましたので、3試合が行われました。

奈多グラウンドの新町ウインズ対奈多クラブ戦は、壮絶な点の取り合いでした。初回7点を先制したウインズでしたが、その裏すぐに奈多クラブが10点取り逆転。しかしジワジワと点差を詰めたウインズが四回表に逆転し追加点を奪うと、粘る奈多クラブを振り切り13-12で辛くも逃げ切りました。投げては好リリーフ、打っては4打数4安打1HR5打点と活躍したウインズ4番城戸選手と、対する3安打3打点の奈多クラブ今林健選手の活躍が光りました。二人は和白中学校野球部時代の同級生で、それぞれ4番と5番を打ち、福岡市大会を制しています。ちなみに、私も同級生で8番を打っていました。同級生の活躍は刺激になります。

青松園Bのレッドサンデーズ対三苦ホーネッツ戦は、序盤リードしたレッドでしたが、三回裏に先発土田投手がランナーをためて、ホーネッツ主将・堺巖生選手に痛恨の満塁弾を許してしまいます。その後ホーネッツ二番手矢野投手を攻めて追いつがるレッドでしたが、チャンスに二度のWプレーで万事休す。前回ホーネッツは、奈多サンデーズに完敗していただけに、同じユニフォームのレッドに対する集中力はいつも以上と堺主将は試合前に私に話っていましたから、有言実行ですね。ご褒美に表紙のプレゼントです。

雁レク5番球場の塩浜ジャガーズ対三苦三球会戦も青松園Bに負けず劣らず点の取り合いでした。ジャガーズに先制されるもすぐに逆転し突き放した三球会は、13点差をもって吉留投手から初登板(?)の堺達也選手に。すると、なめられてはイカンとジャガーズの怒涛の反撃。しかし、失点が大きすぎて立石選手の満塁弾を含む7点挙げても追いつけません。て、いうか16四球は出しすぎです。ジャガーズは内田投手に次ぐ投手を育てる必要がありますね。

WSLは、7月20日現在で最年少18歳から最年長69歳までと一緒にプレーを楽しんでいます。中には、城戸選手、今林健選手それと私のように、中学時代に同じフィールドでプレーした同級生や先輩後輩が多数いることでしょう。月日が流れ、また同じフィールドで今度は違うチーム同士で対戦できることはとても素敵なことだと思います。ましてや親子でプレーしている選手もいますね。

そんな年月と世代を超えた交流ができる和白リーグに席を置くことが出来ることをうれしく思う今日この頃です。お互い切磋琢磨してWSLを盛り上げていきましょう！

7月22日は4試合です。

	一塁側		三塁側		審判
青松園A	三苦フレンズ	対	レッドサンデーズ		新町ウインズ
青松園B	奈多フェニックス	対	ブルーマーリンズ		塩浜ジャガーズ
奈多グラ	新町パイレーツ	対	奈多サンデーズ		奈多クラブ
雁レクE	ソルトベイスターズ	対	三友クラブ		三苦三球会（支払い）

梅雨明け間近です。世代を超えて熱い試合を期待します。